

キーワード

オープンソース、コミュニティ、FOSS4G (Free and Open Source for Geospatial)

FOSS4G と OSGeo 財団日本支部について



地理院タイルをはじめ、様々な地理空間情報がオープンデータとして利用可能になっています。OSGeo 財団日本支部 (OSGeo.JP) は、誰もが自由に活用できるオープンソースの GIS (FOSS4G) の普及により、地理院タイルをはじめとする地理空間情報が簡単・便利に利用できることを目指して活動しています！

FOSS4G を使った地理院タイルの活用事例

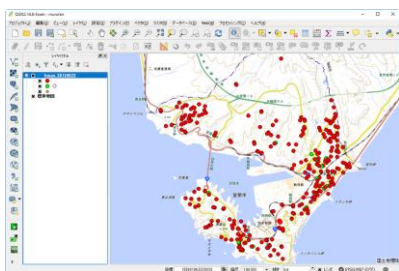
QGIS を用いた地理院タイルの活用法

地理院タイルとオープンデータを組み合わせて様々な表現が可能です。

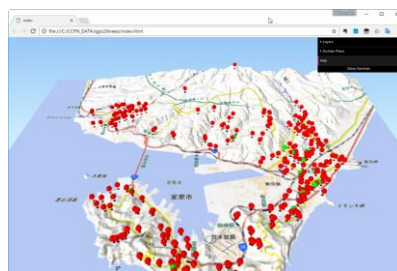
Leaflet での地理院タイルの活用

Web 上で独自データを公開することも可能です。

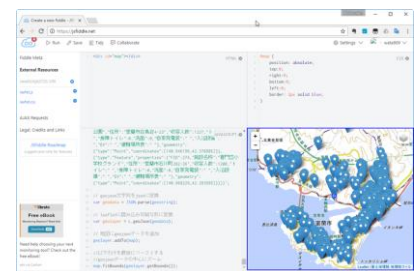
QGIS 上での地理院地図の活用



Plugin を用いた 3D 表示



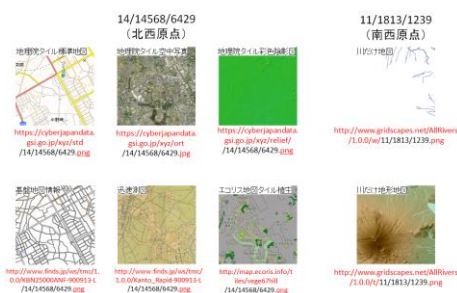
leaflet を用いた独自サイトの構築



Deep Learning 用データとしての地図タイルの活用法

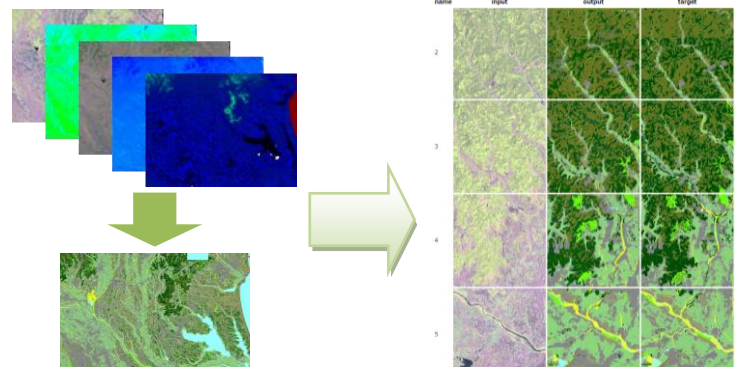
地図タイル、一定のルールで定期的にデータが整備されているので、Deep Learning のためのデータとしても有効に利用可能です。

Deep Learning 用データとしての地図タイルの有用性



多種多様な情報が、整形された形で Web 上から取得可能である。Deep Learning のうち、特に画像変換タスクに適している。

LANDSAT 画像・標高 PNG タイルからの植生図の生成



Web 上から取得可能な各種データを用いて学習を行い、植生図の生成するように学習を実行

左で学習したデータを元に、地図タイルデータから植生図の生成が可能である。